

【技術資料】 GPC によるエンジニアリングプラスチックの分子量測定④ ～各種ポリアミド系樹脂～

概要

エンジニアリングプラスチックである各種ポリアミドの、GPC による分子量測定事例をご紹介します。

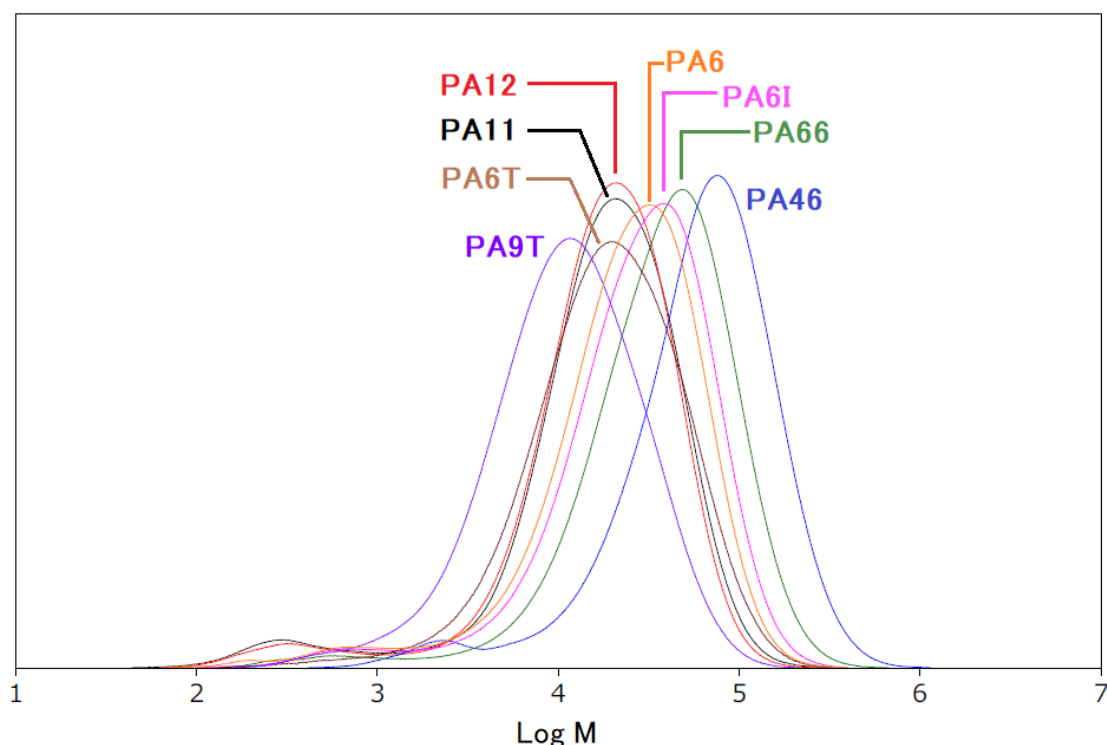
各種ポリアミドの GPC 分析

難溶解性であるポリアミドは、一般的な GPC 溶媒である THF やクロロホルムには溶解しません。このため、常温で溶解可能なヘキサフルオロイソプロパノール(HFIP)を用いて測定を行います。

技術レポート No.T1914 「GPC によるエンジニアリングプラスチックの分子量測定① ～ポリアミド系樹脂の GPC 測定～」に種々のポリアミド測定事例を加えました。

分析事例

図 1 に各種ポリアミドの GPC 測定結果を示します。GPC 測定で分子量分布を評価することにより、各種物性と分子量の関係について詳細に解析することができます。



【図 1】 各種ポリアミドの分子量分布曲線(標準 PMMA 換算)

適用分野：GPC、SEC、HFIP、高分子、分子量測定

材料キーワード：ポリアミド、PA、ポリアミド 6、PA6、ポリアミド 6T、PA6T、ポリアミド 9T、PA9T、
ポリアミド 11、PA11、ポリアミド 12、PA12、ポリアミド 6I、PA6I、ポリアミド 66、PA66、
ポリアミド 46、PA46、ナイロン、エンジニアリングプラスチック